

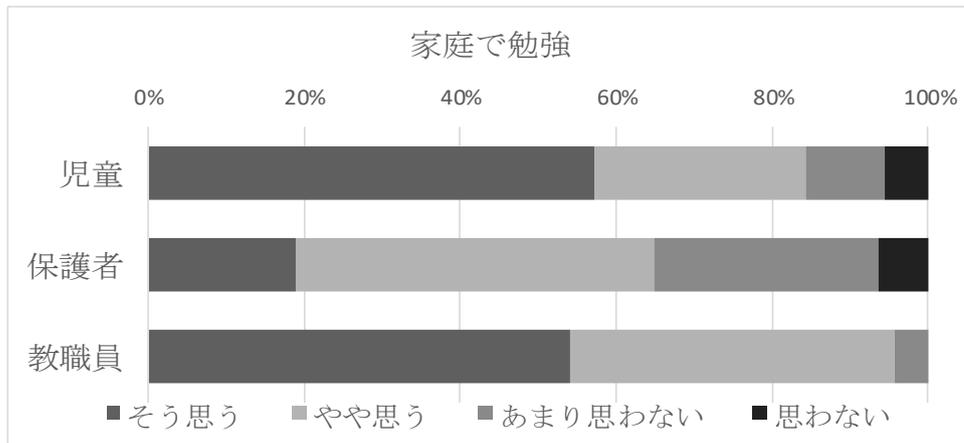
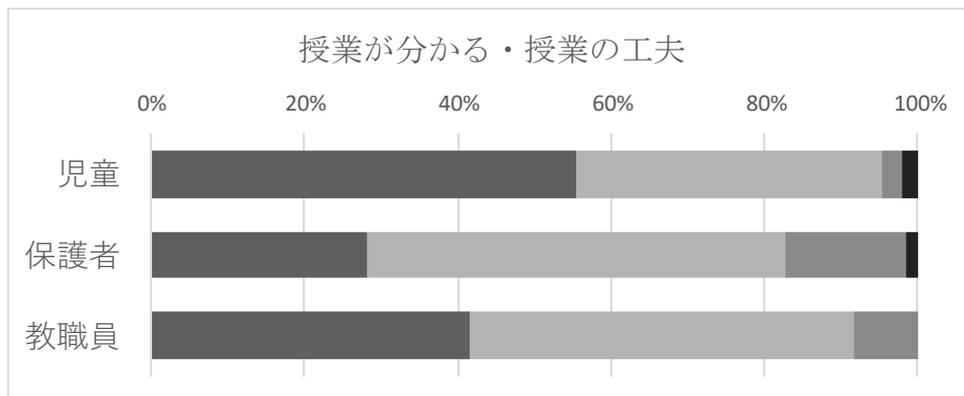
学校評価アンケート結果について①

12月には学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。結果と考察、今後の取組について、今回から4号に分けて報告いたします。質問は対象者によって違いがありますが、共通している質問についてまとめて示し、比較しながら報告いたします。

【回収率】

児童 96.7% 保護者 91.8% 教職員 100% 地域 62.5%

【学習について】



○「授業が分かる」「家庭で勉強」に「そう思う」「やや思う」と回答した割合が児童は高く、保護者は低くなっています。特に、「そう思う」の回答の割合に大きく差があります。保護者の方から、

- ・分からないことを聞けず、分からないまま帰ってきて宿題ができないときがあります。

- ・今日習ったであろう内容の宿題がとけないので、授業についていけないのかと不安に思い、放課後にフォローしてもらっています。

等のご意見もありました。教職員が分かる楽しい授業実践に努めるのはもちろん、授業参観や通信等で学習の状況を伝える機会を設けること、宿題の量や内容、方法を工夫すること等に取り組んでいきたいと思えます。

○ 児童からの意見に、

- ・タブレットの機能を多くする。
- ・ロイロノートを使うと授業がより進むと思う。

等、タブレットの使用についての記述がありました。一人一台端末を活用した学習はこれから不可欠です。効果的な使用について検討し、取組を進めていきたいと思えます。

○ 授業が分かる・授業の工夫について、肯定的回答をさらに上げていく取組が必要です。教職員のからも、

- ・聞く力や語彙力の向上が必要、文化的な経験を多く積ませたい。
- ・基礎的な学力を保障したい。
- ・子どもたちの活動の頑張りや評価したり、活動の痕跡が残るような取組をしたりしないといけない。

等の記述がありました。授業研究等の取組を日々の授業の実践とつなげ、普段の授業のレベルアップを目指し、地道に授業力向上に取り組んでいきたいと思えます。